

あいな 里山公園情報

～国営明石海峡公園神戸地区だより～

トピックス

- 公園づくりの足跡【工事編】
- 公園づくりの足跡【活動編】
- 第5回マネージメント
プラン検討委員会
- ミニイベント野草の植え付け
- 国営明石海峡公園事務所の組織

春のあいさつ

暖冬で桜が早く咲くのではないかという予想を裏切り、ほぼ例年通りの開花でした。天候に恵まれたせいか、桜を楽しむ期間が長かったようで、いつもより多く花見に出かけた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

さて、里山の主役は桜からツツジへと交代をしています。昨年、多くの方に手入れしてもらった森では、今まで見つけることが出来なかったツツジを発見することができて、訪れた方を喜ばせてくれています。

製作・発行

国営明石海峡公園事務所 神戸地区現場事務所
〒651-1104 神戸市北区山田町藍那字伝庫14
TEL(078)593-3943 FAX(078)593-3944
kobe@kokueiakashi.go.jp
http://www.kokueiakashi.go.jp

上：コバノミツバツツジ/下：菜の花

隣の白川村では、朝廷に献上されたと、文献にも記されているそうです。

隣の白川村では、朝廷に献上されたと、文献にも記されているそうです。

隣の白川村では、朝廷に献上されたと、文献にも記されているそうです。



斜面野草植え付けのようす(4/8)

造成によって新しく出来た斜面が早く里山の風景に馴染むようにと、野草の植え付けが行われました。

参加者は20名程、既に工事で移植していたススキと同じように斜面の芝生の隙間に、

次回の発行は
6月中旬頃の予定です

ミニイベント

野草の植え付け

平成19年4月8日(日)

神戸地区のマネージメントのあり方を検討する検討委員会が3月に行われました。

中瀬議長はじめ、9名の委員の方にお集まりいただき、マネージメントプランの検討報告とアクションリサーチの報告の後で、それぞれ意見交換を行いました。

マネージメントプランの検討報告としては林間宿泊ゾーンの将来像について提案が行われ、利用や第1期開園時の整備状況のイメージが示されました。

アクションリサーチの報告としては、コーディネーターや整備プロジェクトに関する成果と課題などが報告され平成19年度の取り組みに関する提案が行われました。

これを受けての意見交換では、数値目標の設定や利用方法、施設などについて、具体的な事例が提案されていました。

第5回マネージメントプラン検討委員会

平成19年3月23日(金)

国営明石海峡公園事務所では、こんな人たちが仕事をしています

所長



事務所長：鈴木

総務課



総務課長：中山



用地官：藤本



総務係長：岸田



経理係長：井上



事務官：竹村

- ・非常勤1名
- ・電算業務委託1名
- ・運転業務委託2名

◆申請書類や契約などの手続きや、用地の管理などを担当しています。

調査設計課



調査設計課長：藤原



調査設計係長：松永

・業務委託2名

◆測量や植生・生物の調査業務や工事などの設計業務と、市民活動の窓口などを行っています。

工務課



監督官：村上



工務課長：坂本



建築設備係長：前田



工務係長：田中



技官：安井

- ・非常勤1名
- ・業務委託2名

◆造成や園路・広場工事等の土木工事を担当する工務係と建築物の工事を担当する建築設備係があります。実際の工事を監督しているのもこの部署になります。

バックヤード工事

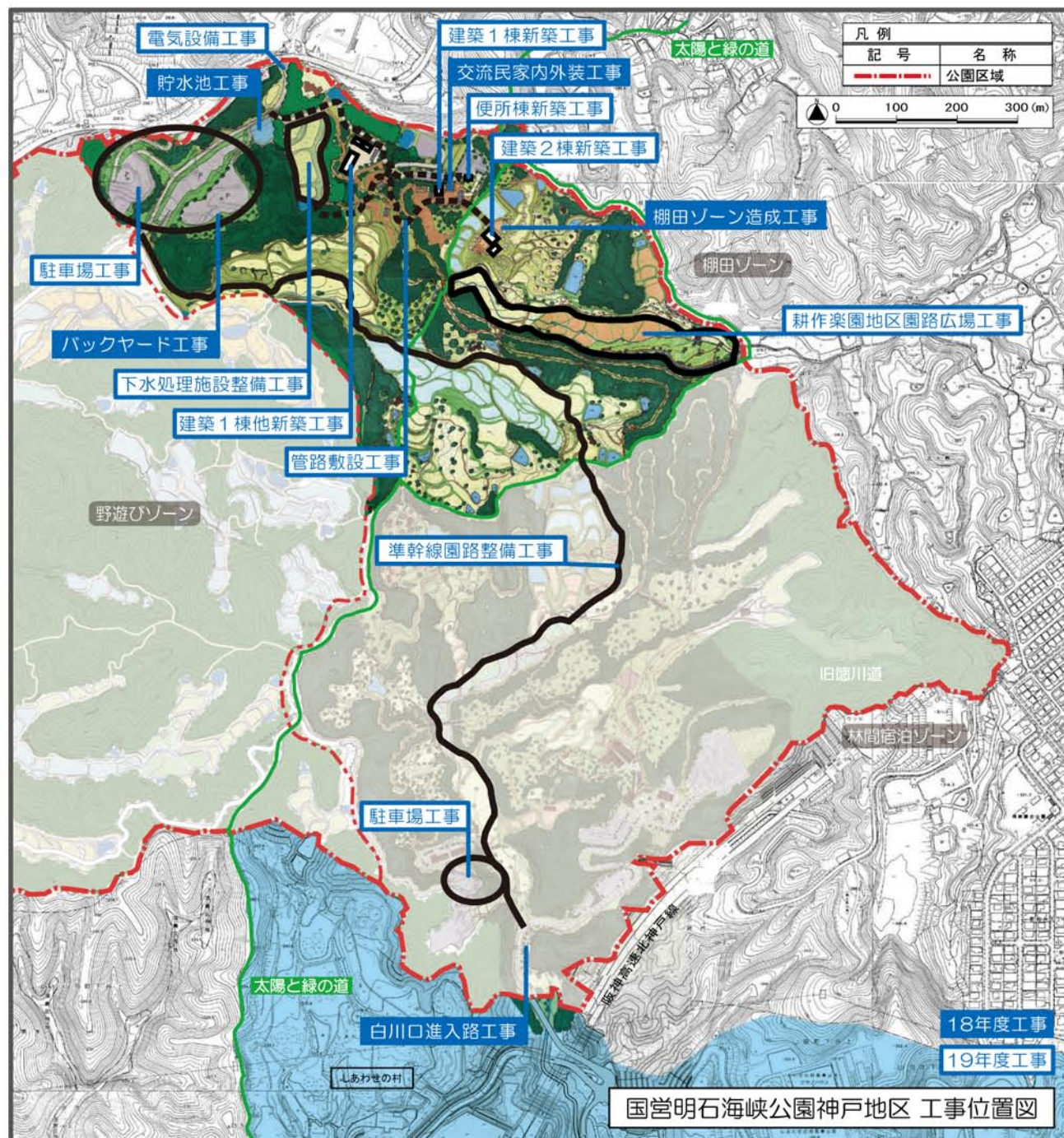
藍那口の工事用ゲートの南西方向に平地を整備し、バックヤードとして、工事用資材の保管や伐採木等の仮置きに使用しています。

今後の予定

実施基本計画では、駐車場として計画されている場所です。



バックヤード



国営明石海峡公園神戸地区 工事位置図

造成・建築と見た目にも変化の多かった一年でしたが、これらの工事以外にも、水道管の敷設工事や、電気の仮工事、危険箇所の補修など開園に向けて整備が行われました。

また、伝統的な里山景観の復元を目指す棚田ゾーンでは、造成後の法面部分の草地景観を復元させるために、活動団体の茅葺屋が管理してきたススキの根株を移植したり、整備イベントを開催し、市民参加による野草の植え付け作業を行ったりしています。

また、工事の前段階として、植生や貴重種の調査や、園路を通すための測量調査やボーリング調査なども行われており、これらは設計を経て、工事に取掛かる事になります。

公園づくりの足跡 2006-2007

工事編

棚田ゾーン造成工事

伝統的な里山の景観の復元を目指している、棚田ゾーン。神戸電鉄藍那駅からの玄関口であり、神戸市道である太陽と緑の道が通っているため、ハイキングに訪れる方も多くいます。

公園の玄関として利用するにはまとまった広さの平地が必要になるため、造成をして、広場や施設が作れる空間としました。

この場所は全面、3mを超える笹に覆われていた場所で、造成地の北側部分は、市民の手によって刈り取られ整備されました。

今後の予定

造成地には、2棟の建物の建築が予定されています。内1棟は茅葺きの建物になります。



棚田ゾーン造成地



棚田ゾーン造成地



棚田ゾーン造成地

白川口進入路工事



白川口進入路



白川口進入路

しあわせの村との隣接部分に白川口が計画されており、その進入路部分の工事が完了いたしました。

ただし、現在は工事用道路としてのみの使用になりますので通常は立入り禁止となります。

今後の予定

現在、入り口部分の工事が完了していますが、準幹線園路等の整備が引き続き行われる予定です。

交流民家内外装工事



交流民家 内装



交流民家 外装

貯水池工事

棚田ゾーンの造成に伴い貯水池を整備しています。

周囲や環境への配慮として公園整備には欠かせない重要な設備です。



調整池

棚田ゾーンの休憩所・案内所としての役割を期待されている交流民家。里山まつりの際には開放して、建築当時の建物の様子を再現した内装を見ていただきました。

あ いな里山サロン

直営

公園の進捗情報や今後の予定を公表し、市民の方々と意見交換を行う場です。昨年度は、9月に1度開催いたしました。



サロンのようす

あ いな里山まつり

市民 直営

参画型のイベントとしては8回目、市民が運営に参加してからも4回を数える神戸地区最大のイベントです。参画している団体のほとんどが一同に介し、普段の活動の紹介や成果の発表を行い、訪れた方に里山の楽しさを伝えています。

開催時期、運営方法なども試行錯誤して、より親しまれるまつりとなるように年々変化・発展しています。



第8回あいな里山まつりのようす

公園づくりの足跡 2006-2007

活動編

アクションリサーチ

直営



ササ刈りのようす



野草植え付けのようす

市民による公園整備や運営の社会実験として行われています。公園の整備に、市民がどのように関わり、将来どのようなプログラム運営が出来るのか、そして、その活動を担う団体を支える組織はどんな形が適しているのか。これらを公園整備をしながら検証しています。

昨年度は、市民により棚田ゾーンで大規模な笹刈りや樹林の整備が行われ、綺麗な里山の風景が復活しています。

今後の予定

年間を通して、参画団体主催のミニイベントを実施し、参画団体や参画する人を増やしながら整備に取り組んでいきます。

ユニセフパークプロジェクト

直営

国営明石海峡公園と日本ユニセフ協会の協働事業として運営しています。

2000年から検討をはじめ、昨年度は里山の素材の有効活用として藍那にはびこるネザザによる遊具づくりに挑戦しました。



UPP活動のようす

今後の予定

将来公園で提供していくプログラム開発に取り組んでいきます。

里山管理技術者講習

直営



里山管理講習のようす

公園の中で里山管理を担っていただく上で必要な知識や、技術、安全管理の意識を体得してもらい、安全に活動していただくために講習を実施しています。

資格制度の運用を視野にいれて技術者認定も行っています。

今後の予定

将来的には、有資格者とその責任の下で安全に作業してもらえ制度となるよう、認定方法や講習を含めて、段階的に運用していきます。



里山管理講習のようす

茅刈り体験会

直営

茅の収穫と茅場の維持管理を体験してもらおうと、近隣の親子を対象に茅刈り体験会を実施いたしました。ただ、茅を刈るだけでなく、茅と人との関係や循環についての啓発活動として実施しています。



茅刈り体験会のようす



茅刈り体験会のようす

市民事業・市民活動

市民

昨年度活動実績があり、4月15日までに本年度の活動申請があった団体一覧です。(順不同)

あいな育みの会

H14.4～(耕作くらぶとして)
あいな耕作くらぶとあいな茶屋が19年4月に合併。耕作活動や地元料理の提供をしています。

学半舎

H18.7～
子どもや障がいを持つ人と一緒に、耕作活動や里山保全を行っています。

あいな里山バイオパーク

H16.4～
公園内にビオトープを創り、環境教育のフィールドとして活用しています。

あいな野草くらぶ

H16.10～
園内の野草の復活と、野草の活用を目的に、野草の植え付けや維持管理をおこなっています。

あいな炭焼きくらぶ

H14.4～
あいなに古くから伝わる方法の炭焼きに、楽しみながら取り組んでいます。

環境ボランティア わかば会

H18.2～
里山の維持管理のボランティアとして、特に竹林の維持管理に力をいれています。

ため池・湿地帯の生き物保全

H17.5～
園内のため池の調査や、ため池やその周囲の手入れ、在来生物の保全などを行っています。

Tree+ing Club Around the tree

H18.7～
ロープを使った木登りを通しての環境教育と、樹林の管理を実施しています。

兵庫・水辺ネットワーク

H16.4～
ため池に住む貴重な生き物の調査観察と、水環境維持のための提案を行っています。

特定非営利活動法人 自然と友だちになろう

H16.5～
(あいな里の山ネットワークとして)
作物の栽培や植物の観察会、里山講座などを開催しています。

あいな茅葺きくらぶ

H17.2～
茅葺き講習の受講生が集まって結成。茅葺きの技術の向上と茅場の管理をしています。

プレゼント・ガーデン

H16.11～
知的障害者による里山管理を目指し、主として竹林管理に取り組んでいます。

兵庫きのこ研究会

H16.1～
定期的にきのこの観察会を開催し、データベースの作成なども行っています。

フォレスト・プランニング・オフィス

H18.7～
パーマカルチャーという、自然との共生方法の講座を定期的に開催しています。

ユニセフ・パーク・プロジェクト ファシリテーターグループ

H16.12～
学生ボランティアを中心に、場の整備や自分達のスキルアップを行っています。

棚田休耕田蕎麦を作ろう会

H16.5～
里山景観の復活を目的に、まず蕎麦の畑を作り、蕎麦打ちイベントなどを行っています。

茅葺屋

H16.12～
茅の持つ循環性を伝えるため、茅場の管理と共に、茅の収穫や流通を行っています。

特定非営利活動法人 ランドエコシステム

H18.4～
園内の生態系調査として、主にトンボの観察・調査を行っています。

特定非営利活動法人 天然主義

H16.4～(里人として)
自然と共生型の暮らしが体験できる「エコビレッジ」づくりに取り組んでいます。

神戸市 北区役所 親子こめづくり道場

H14.6～
親子でこめづくりを体験してもらい、北区の企画です。田植えや稲刈りが体験できます。

団体名

活動開始年月

活動内容